

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第 35 号

(平成28年4月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会
連絡先：(事務局)UR都市機構東日本都市再生本部
三鷹駅南口再開発事務所
TEL 0422-70-0556



トピックス

- ・第72回～第77回勉強会の報告
- ・浜町マルシェ及びワテラス見学会の報告
- ・三鷹市からの報告
～三鷹駅前地区再開発基本計画について～
- ・UR都市機構からの報告
～人事異動について～



第72回～第77回勉強会の報告

協議会では、昨年11月から先月までの間に、勉強会を計6回開催しています。

当地区では、整備する予定の3棟の下層部の店舗を一つの商業施設と捉え、全体でバランスが取れた計画的な店舗配置(ゾーニング)を検討し、これを実現するために業種調整を行う「一体運営」の考え方を採用する方向としています。

昨秋から今年の1月までに開催した勉強会では、当地区における商業施設のゾーニングについて、議論を行いました。「三鷹の商業実態を把握したうえで、駅南口エリア全体としてのにぎわいを作り出す」「利用者は、どのような施設を望んでいるのか」といった視点を念頭に置きながら、ワークショップ形式で活発な意見交換を行いました。

2月からは商業施設の一体運営のルールとリスクについて、一般的な考え方を確認しました。

一体運営を維持するためにはルールが必要ですが、どの程度のルールを設定するのか、また、ルールがあることによって、区分所有者としての施設利用に一定の制約がかかることや、場合によっては賃料リスク等が発生することなどを理解しました。

今後は、商業施設の一体運営を行うために、当地区での運用を念頭に置いた当地区におけるルールや組織のあり方について検討を進めていく予定です。



浜町マルシェ及びワテラス見学会の報告

協議会では、2月1日に、トルナーレ日本橋浜町の1階広場で開催された浜町マルシェと神田淡路町二丁目西部地区再開発事業で整備されたワテラスの見学会を行いました。

浜町マルシェでは、商業施設活性化に資するためのイベントの事例として、屋外の広場で開催されていたマルシェを見学した後、主催者の方から開催の経緯や苦労している点などを伺うことができました。

ワテラスでは、エリアマネジメント法人の方から、ワテラスの施設を中心とした地域交流の取り組み等について、ご説明と地域交流スペースなどの実際の施設の見学を行いました。

まちづくりに繋がる取り組みとして大変参考になり、当地区の事業にも活かしていきたいと思えます。



▲浜町マルシェ見学の様子



▲ワテラス見学の様子

三鷹市からの報告

三鷹市は、三鷹駅前地区において、歩行者の回遊性やにぎわいの創出、景観づくりの誘導などにより、三鷹の商業の中心地として成熟したまちづくりを進めるため、「三鷹駅前地区再開発基本計画2022」の策定を進めています。

本計画では環境に配慮したまちづくりなど、5つの基本的な視点のもと、5つの重点事業を設定し、当地区はその1つとして、三鷹駅前地区の活性化の拠点施設となるよう事業を推進することとしています。

このたび、三鷹駅前地区再開発基本計画2022（素案）をとりまとめ、4月7日から27日までパブリックコメントを実施していますので、計画（素案）に対するご意見・ご要望をお寄せください。市民の皆さんからいただいたご意見等を踏まえ、6月頃までに計画の策定を予定しています。計画（素案）は、市ホームページ※でご覧になれるほか、コミュニティセンター等で配布しています。

※http://www.city.mitaka.tokyo.jp/c_pubcome/

UR都市機構からの報告

4月1日の人事異動で、星野光一が再開発事務所に着任しました。

また、事業調整課に長浜敏郎、佐藤由美の2名が加わりました。

所員一丸となって、再開発事業の進展に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。



佐藤さん

星野所長

長浜さん